

【募集】

= 大阪開催 =

開催日: H22年11月27・28日

先着順20名

【受講申込スケジュール】

申込最終日: 11月 18日

<ご注意>

添削希望の申込は11月12日まで

課題送付は11月16日

【定員】

先着順: 20名

課題添削人数の関係上、定員になりましたら締め切りいたします。

【セミナーのテーマ】

日・米/特許出願
中間処理手続の翻訳

その法律文書としての翻訳のあり方

【受講料】

一般: 38,000円(教材・消費税込み)

<割引>受講生・修了生、ChinalP誌購読

33000円(教材・消費税込み)

【開催場所】

大阪科学技術センター

西区靱本町1-8-4

【講師の紹介】

James Judge

ジャッジ パテント アソシエイツ代表

米国パテントエージェント

大阪の事務所より、USPTOへ直接出願代理をし中間処理実務と同時に翻訳業務も行う。

ダンス・ダンカン

1973年ニュージーランド生まれ

1999年北海道大学法学部法学科卒

2002年理創国際特許事務所入社

それ以来、主に中間処理及びその対応コレボンの翻訳・チェックの仕事に従事
2008年独立第9回、日・米/特許出願の中間処理翻訳
2日セミナー(大阪)日・米/特許出願中間処理手続の翻訳
その法律文書としての翻訳のあり方

多くの文例による翻訳演習を行います

実施日: 2010年 11月27日(午後)、28日(午前・午後)

【セミナーの内容】

- ・受講の初日に先立って課題をお送りします。左のスケジュールを十分確認のうえお申込ください。
- ・中間処理手続きの翻訳は特許明細書翻訳とは違い、法律実務の翻訳になります。
- ・授業及び演習は、中間処理手続の基礎的理解の上に手続き書面・通信文の法律実務翻訳に耐えうる翻訳スキルを得る事に重点が置かれており、米国法律事務所からみておかしくない法律文書翻訳を目指します。
- ・日本人以上と思える日本語理解力をもつダンス・ダンカン講師の日本語による明快な演習。

WEBよりのご案内 <http://www.zoomin.co.jp/>

〔初日: 11月27日(土) 13:00 ~ 17:00pm〕

講師: ダンス・ダンカン(特許翻訳者)

. 課題 / 翻訳文からみる法律実務翻訳としての問題点

1. 中間処理文における法律用語(集)と法律文書の様式
2. 上級翻訳者が理解すべき英文の法律実務文章のポイント
3. 中間処理手続きのよくある典型的な文例

〔2日目: 11月28日(日) 10:00am ~ 17:00pm〕

講師: ダンス・ダンカン(特許翻訳者)

. 課題 / 中間処理手続き、その翻訳文の検討と評価

(課題文における手続面の理解と翻訳上の注意点)

講師: 米国パテントエージェント・James Judge

. 米国における中間処理手続きの類型と使える英語文例の紹介

拒絶理由及びその対応の留意点 必要な英語表現、避けるべき英語表現、文例集
講師: ダンス・ダンカン(特許翻訳者)

. 課題 / 中間処理手続き、その翻訳文の検討と評価

(翻訳作業及び手続き背景の確認、翻訳作業上の注意点)

【受講対象】

- ・企業知財関連部・特許事務所の方
- ・翻訳(特許)の仕事で中間処理手続き翻訳のスキルを高めたい方
- ・特許翻訳者を目指す方

第9回、日・米/特許出願の中間処理翻訳
2日セミナー申込書(大阪)

FAX 03-3292-2701

お名前	TEL	申込 区分	一般()
	FAX		修了生()
弁理士会会員の方(登録番号)	E-mail		ChinalP()
住所(資料送付先) 〒 -			

受領後、「お支払いのご案内」と「受講票」をお送りします。

連絡先 (株)エイバックズーム

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL03-3292-2700 FAX03-3292-2701 E-mail staff@zoomin.co.jp